

SR-250Ri、MR-350Ri ラフテレーンクレーン車両の

定期エンジンオイル交換の必要性について

SR-250Ri(KR-25H-V8)、MR350Ri(KRM-35H-Ⅲ)ラフテレーンクレーン車両に搭載されている三菱ふそうトラック・バス(株)製造エンジンの6M60-TLE3BA(平成23年ディーゼル特殊自動車排ガス規制適合)エンジンのターボチャージャー破損が報告されております。

取扱説明書に記載されているエンジンオイル交換時間を順守、車両運行開始前点検でのエンジンオイル量レベル確認及び指定エンジンオイルを使用することで突然発生する故障を未然に防止できます。

整備点検につきまして以下に要点を記しますが、車載している取扱書内容を再度ご確認、ご理解頂き安全運行をお願いします。

要点1: エンジンオイル交換250時間毎交換。

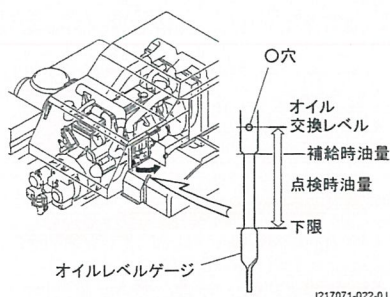
(初回のみは60時間)

エンジンオイルフィルタ交換500時間毎交換。

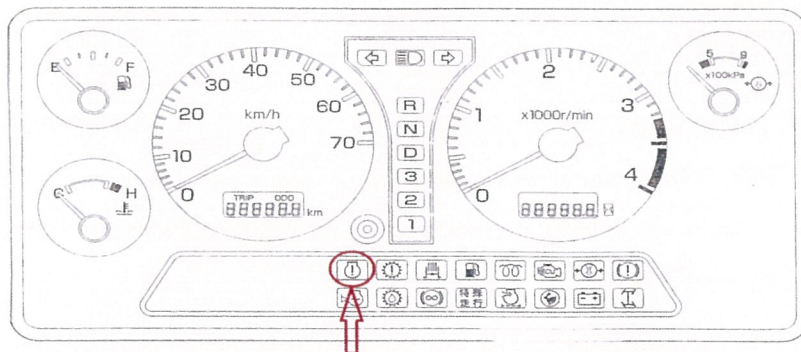
尚、KATO純正エンジンオイル又は 同等品を使用願います。



要点2: 車両運行開始前点検実施でのエンジンオイル量の確認及びエンジン始動直後のクラスターメータ内のエンジントラブルランプ点滅の有無確認。



クラスターメータ警告表示



エンジンキーOFFからONポジション位置にするとブザーと共にクラスターメータ点灯チェックを行います。その後、○部のエンジントラブルランプが点灯から10秒間の点滅になった場合、エンジンオイルが希釈されエンジンオイルレベルゲージ「O穴」に達している可能性があります。その際、車両を平らな安全な場所に移動させ再度、エンジンオイルレベルゲージでオイル量確認及びエンジンオイル交換履歴の確認をお願いします。エンジンオイル交換時間超過又は、「O穴」位置の希釈レベル到達している場合、直ちにエンジンオイル及びエンジンオイルフィルタを交換してください。左写真は、450時間毎エンジンオイル交換及びエンジンオイルフィルタ交換で破損したターボチャージャーの一例です。(発生時:約1000時間、4000キロ)